

# ワーケーションワーキンググループについて

令和 2 年 1 0 月 2 3 日

山梨県

# ワーケーションワーキンググループについて

## 趣旨

- ・コロナ禍による都市部から地方部への人の流れや、テレワークの普及とそれに伴うテレワーク経験者の意識の変化等を踏まえ、今後は、これまでの移住・定住施策に加えて、二拠点居住（※）を積極的に推進することが必要。  
※都市部と地方部に2つの拠点をもち、どちらの拠点にも仕事・生活の拠点を置くライフスタイル
- ・コロナ禍における新たな観光振興策であるワーケーションは、地方への移住のきっかけともなりうる可能性。
- ・本県では、ワーケーションを二拠点居住に向けた段階的取り組みの一つとして捉え、特に強力で推進していくため、ワーキンググループにおいて、今後取り組むべき施策について具体的に研究していく。

## 委員

区分	氏名	所属・役職
自然首都圏構想研究会 委員	丸山 裕貴（座長）	東京大学未来ビジョン研究センター 受託研究員
宿泊関係団体	青柳 文人	山梨県旅館ホテル生活衛生同業組合 副理事長
観光関係団体	佐藤 優	（公社）やまなし観光推進機構 観光産業支援部長
学識経験者	田中 敦	山梨大学生命環境学部地域社会システム学科 学科長 観光政策科学特別コース 教授
自治体	小尾 正人	北杜市役所 観光課長
自治体	山形 信寛	笛吹市役所 観光商工課 主査
自治体	望月 昌也	身延町役場 観光課 副主幹
自治体	朝比奈 伸次	富士河口湖町役場 観光課 係長

（敬称略・50音順（自治体は建制順））

※庁内メンバーとして、地域創生・人口対策課長、森林環境総務課課長、労政雇用課長、観光資源課長、担い手・農地対策課長が参加。

※オブザーバーとして、旅行事業者（JTB、日本旅行）、ワーケーション拠点運営事業者（LIFULL）、企業向けワーケーションサービス提供事業者（パソナ）が参加。

# ワーケーションワーキンググループについて

## 今後のスケジュール（想定）

- ・令和2年10月～令和3年1月にかけて、全3回開催を予定。

## ワーキンググループの展開イメージ

### 【第1回】

ワーケーションの推進にあたり、ワーケーションの定義等の基本的事項について整理し、国や地方等の動向を踏まえ、本県としてどのようなワーケーションを推進すべきかについて議論し、県・市町村・各民間事業者がすべきことや果たすべき役割について検討。

### 【第2回】

第1回での検討状況を踏まえ、当面取り組むべき施策と中長期的に取り組むべき施策を整理し、具体的に検討。

→検討結果について、二拠点居住推進部会にフィードバック

### 【第3回】

二拠点居住推進部会における議論を踏まえ、今後のワーケーション推進にあたっての方針と取るべき施策についてとりまとめ。

→とりまとめた内容については、庁内で共有・検討を行い、必要に応じて施策に反映